宮城県の子どもの貧困率全国32位

子どもの貧困は社会的損失

東日本大震災による影響も

2013年の国民生活基礎調査（厚生労働省）では、12年の子どもの貧困率が16・3％となり、過去最高を更新した。国民総中流社会は遠い過去となり、この20年で貧困世帯は倍増。子どもの貧困対策は国を挙げて取り組むべき喫緊の課題となっている。宮城県においても例外ではない。

子どもの貧困率は国民生活基礎調査（厚生労働省）を基に、OECD（経済協力開発機構）の作成基準によって算出されている。子ども（17歳以下）の貧困率16・3％は、日本の子どもの6人に1人が相対的貧困の家庭（12年の場合は所得が122万円未満の世帯）で暮らしていることになり、ひとり親世帯に限ると54・6％、子どもの貧困率の半分以上を占める。そして子どもの貧困率は1985年の10・9％からずっと上昇し続けている。

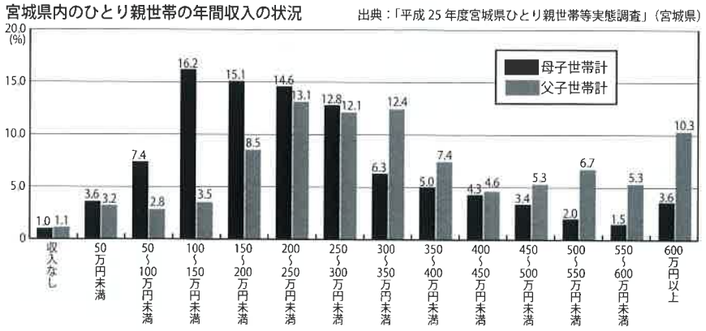
宮城県は全国32位

国では都道府県別の数字は出していないが、山形大学の戸室健作准教授による子どもの貧困率（12年データ）は13・8％、宮城県は15・3％で全国32位となっている。戸室准教授は総務省の「就業構造基本調査」と厚労省の「被保護者調査」を使って生活保護基準以下の収入しかない世帯の割合として計算しており、貧困率の低い県は福井県の5・5％、富山県6・0％。逆にワースト1位は沖縄県の37・5％、大阪府21・8％などとなっている。

宮城県では東日本大震災の影響も大きいといい、県内のひとり親世帯の推移を見ると、母子世帯、父子世帯、養育者世帯（祖父母や里親などが養育者の世帯）のいずれも増えている（表参照）。また、ひとり親世帯の経済状況はグラフの通りで、母子世帯の場合「収入なし～250万円未満」で約60％を占めている。

子どもの貧困が問題なのは、それが連鎖すること。人口減少時代では、就労人口の減少は人材不足につながり、市場の縮小につながる。一方、貧困者が増えれば社会保障費は拡大する。宮城県の資料（日本財団・三菱UFJリサーチ&コンサルティング）によれば、貧困が改善されれば、生涯所得が全国で2・9兆円増加し、宮城県でも480億円増え、逆に税や社会保障の負担額は全国で1・1兆円減り、宮城県でも171億円減少するとしている。

宮城県内のひとり親世帯の年間収入の状況　出典：「平成25年度宮城県ひとり親世帯等実態調査」（宮城県）



ZENES
事業用買取物件募集中!!
企業の不動産戦略を的確にサポート致します
事業用物件売買
事業用物件仲介
ゼネス
遊休資産の再生
専門家とのネットワーク
弁護士・公認会計士
不動産鑑定士
国土交通大臣（2）第7671号
株式会社 ゼネス
本　社　〒980-0011　宮城県仙台市青葉区上杉6丁目2番2号
TEL 022(727)8288　FAX 022(727)6055
東京支店　〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南1丁目12番1号
TEL 03(6658)5688　FAX 03(6658)5781

子ども食堂で早期発見目指す

国では14年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を施行し、8月にはこの法律に基づく「子どもの貧困対策に関する大綱」が策定された。宮城県では16年3月に国の大綱を踏まえて「宮城県子どもの貧困対策計画」を策定し、①教育の支援②生活の支援③保護者に対する就労の支援④経済的支援⑤東日本大震災被災児童への支援の五つの支援を推進する。①～④は国の大綱と同じだが、⑤は宮城県独自の震災に起因する児童生徒の諸問題を教育と福祉の連携によって解決していこうというもの。

県としては17年度は、貧困対策の基礎データとなる各自治体の実態調査の推進（国と県の補助金活用）を行うほか、新規事業として「子ども食堂支援」（年予算300万円）と「子どもの学習支援」（同約3000万円）を進める。

子ども食堂支援は、子どもの孤食の防止や居場所づくり、生活困窮者の早期発見による公的支援へのつなぎ、地域のコミュニティーづくりにもつなげたい考えで、NPO法人などへの委託を予定し、立ち上げに向けての講習会や講座の開催を行うとしている。県が3月時点で把握している子ども食堂は、仙台、石巻、多賀城、塩釜市に計15カ所。開催の頻度や食事を有料にするかどうかは運営者が決めている。県では「もっと増やしていきたい」という。

多賀城市のみやぎ生協多賀城店では、毎週金曜日にNPO法人アスイクが学習支援付きの子ども食堂を16年6月から運営している。子ども食堂には、誰でも参加できるサロン的なものと、生活困窮者を対象にしたものがあり、多賀城は生活保護や児童扶養手当などを受けている世帯を対象にしている。ただ、生活困窮者を対象にすると「子ども食堂に行くと貧困だと思われるから」などの抵抗もあるとされ、利用者が集まりにくいといい、学習支援との連携が重要だという。

アスイクは震災直後から学習支援を行っており、県の17年度の学習支援事業でも県内8カ所で新たに立ち上げ、そこでも月1回食事の提供を行う。大橋雄介代表理事は「子ども食堂という看板がなくても目的は一緒なので、今後は運営している人たちとの連携やこれから立ち上げる人のサポートをしていきたい。県内に子どもの居場所を作っていきたい」と話している。

県内ひとり親世帯数の推移（仙台市を除く）　単位：世帯

	平成15年度	平成22年度	平成25年度
母子世帯	10,019	12,006	13,104
父子世帯	843	919	1,638
養育者世帯	124	118	136
合　計	10,986	13,043	14,878

出典：「平成25年度宮城県ひとり親世帯等実態調査」（宮城県）
「平成22年度宮城県母子世帯等実態調査」（宮城県）

（参考）ひとり親世帯数の推移（仙台市）

	平成15年度	平成20年度
母子世帯	11,132	13,091
父子世帯	1,800	1,978
合　計	12,932	15,069

出典：仙台市調査（「平成25年度宮城県ひとり親世帯等実態調査」より引用）

多賀城市の子ども食堂の様子（写真：アスイク提供）

戦略MG マネジメントゲーム
＝参加者募集中＝
mg　仙台　検索
来たれ初心者
戦略MGセミナー
開催日 6/6(火) 9/14(木)
時　間 AM8:00~PM8:00
参加費 20,000円
集まれ経験者
戦略MG道場
開催日 5/23(火) 6/20(火)
時　間 PM1:20~PM8:00
参加費 1,000円
「戦略MGセミナー」受講後は、「戦略MG道場」へ、目指せ100期！
「戦略MG道場」は、マネジメントゲーム経験者が対象です
戦略MGマネジメントゲームとは
①会社経営を、ゲーム感覚で学ぶ経営シミュレーションゲームです
②会社を設立し、設備投資・採用・仕入・販売・経理・決算を自分一人で行います
③専門知識不要、ゲームから導かれ、貸借対照表・損益計算書を作成します
特長は全体的経営思考を高め、戦略的な計数管理能力が身につきます。気づきが学び！
申込先 および 開催会場
〒983-0868
仙台市宮城野区鉄砲町中5-6
税理士法人 植松会計事務所 3F会議室
TEL：022-297-2771
HP：www.uema2-yume.com
Mail：yume@uema2.com
講師 公認上級インストラクター
税理士法人植松会計事務所皆様に全面的な運営支援を頂いています
NPO法人 夢実現支援隊